

三保地区

三保地区別計画推進策定委員会

地域 三保町

緑区の中央に位置し、地区の南側は旭区に隣接しています。北側約半分には、いくつかの集合住宅と既存の住宅など、住宅地が広がっています。南側には「三保市民の森」など広大な緑地が残されていますが、ここ数年間で開発が進み、住宅が増えています。

また、特別養護老人ホームなどの高齢者施設が多くあります。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

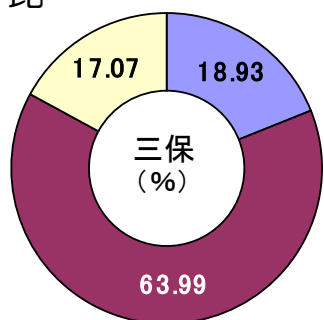
震災時避難場所（地域防災拠点）：三保小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

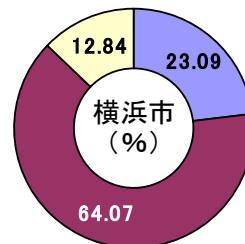
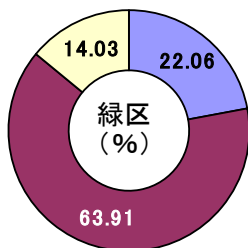
<年齢区分別人口>

平成27年(2015年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)

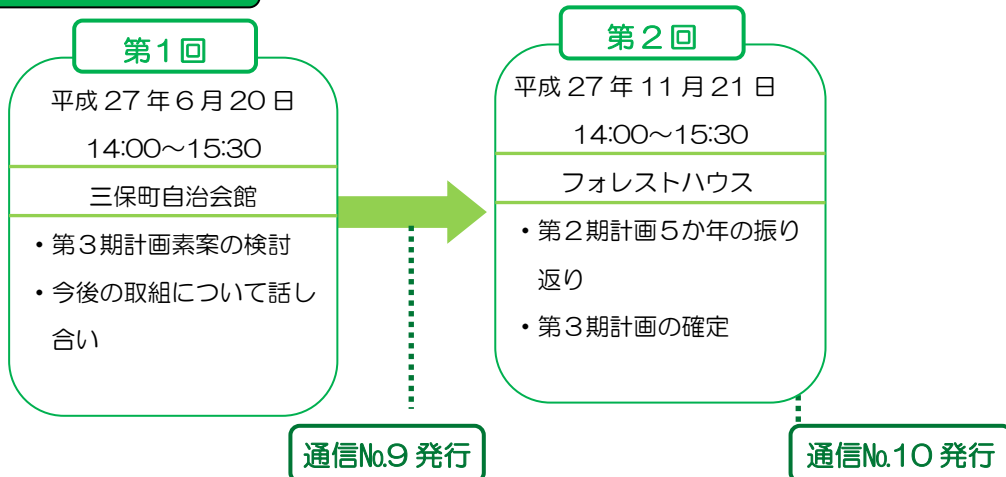


75歳~	1,179人
65~74歳	1,657人
15~64歳	9,585人
6~14歳	1,648人
0~5歳	909人
合計	14,978人

75歳~	17,774人
65~74歳	21,834人
15~64歳	114,752人
6~14歳	15,597人
0~5歳	9,603人
合計	179,560人

75歳~	397,977人
65~74歳	462,998人
15~64歳	2,388,957人
6~14歳	291,502人
0~5歳	187,470人
合計	3,728,904人

地区別計画推進策定委員会の開催



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成27年度地区別計画推進状況



三保地区



多世代の方々が「つながり」を深め、より暮らしやすい街**三保**を目指します！



地区別計画の3つ目標の実現に向け、取組を進めました！

地域のつながりを大切にしたい！

健民祭や子どもフェスタ、ウォークラリーなど世代を超えた住民参加のイベントは、今年も地域住民のつながりの場、語り合いの場となりました。



(写真：「ウォークラリー」の様子)



(写真：「子どもフェスタ」の様子)



(写真：「第1回地区別計画推進策定委員会」の様子)

落ち着いて活動できる拠点を増やしたい！

地域住民が気軽に利用できる活動拠点の確保に向けて、公共施設の整備、福祉施設、民間施設の借用等関係部署への働きかけや検討を行いました。

イベント情報等を地域で共有したい！

平成25年度作成した「三保地区地域活動マップ&防災マップ」を活用して、多くの方がさまざまなイベントに参加されました。

また、地域のイベントや防災活動にも役立つピブスを作成し、地域のつながりと一体感を醸成する一助となりました。(写真：「三保小学校地域防災拠点訓練」の様子)



(画像：三保地区 地域活動マップ/防災マップ)



(写真：連合自治会ピブスを着用した様子)

これまでの取組を継続し、第3期計画でも地区別目標を着実に進め、多世代の方々が『つながり』を深め、より暮らしやすい三保を目指します！

三保地区別計画推進策定委員会



三保地区別計画推進策定委員会
平成27年8月発行 No.9

三保地区別計画推進策定委員会通信

平成27年6月20日(土) 三保町自治会館で、「平成27年度第1回 三保地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

委員会では、平成28年度からスタートする第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期計画における

「三保地区 地区別計画」の素案の検討を行いました。 **委員会の様子▶**



この通信では、検討されている素案の内容や今後のスケジュールと委員会の様子をご紹介します。

三保地区別計画推進策定委員会って何？

「みどりのわ・ささえ愛プラン 三保地区別計画」(平成23年度～平成27年度)の推進及び次期計画策定に向け、具体的な取組の検討、情報共有、意見交換等を行っています。下記の団体の代表者により構成しています。

連合自治会、自治会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、消費生活推進員、青少年指導員、友愛活動員、少年補導員、防犯指導員、老人クラブ連合会、三保おやじ団、ボランティアみほ、隣友会、三保小学校 PTA、三保小学校 (順序不同)

三保地区別計画(素案)平成28～32年度

注目!

- 目標1** 地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい
- 目標2** 落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい
- 目標3** 地域が団結して、防災力を高めたい



目標1 地域でのつながりを大切に
し、活動を活発にしたい

<具体的な取組(案)※抜粋>

- 子育て中の人に参加できる機会・場を増やし、継続して活動できるようにしたい。
- 地域のイベントや活動を知ってもらため、広報や情報提供を充実・工夫し、担い手の確保や若い人をはじめとした参加者の幅を広げたい。
- 団体・個人を問わず、日頃からあいさつする関係をつくり、地域のつながりを深めたい。
- ウォーキングやラジオ体操など、健康づくり活動を充実し、「つながり」づくりを進めたい。

目標2 落ち着いて活動できる
活動拠点を増やしたい

<具体的な取組(案)※抜粋>

- 公設施設の整備を目指し、地域が一体となって実現に向けて努力していきたい
- 自治会館・集会所の相互利用や民間や福祉施設などの空いているスペースの利用促進も引き続き調整していきたい。
- 学校開放などの機会を活用するなど、工夫して地域活動を充実させたい。
- いつでも立ち寄れる交流の場として、交流サロンなどの開設についても検討を進めたい。

目標3 地域が団結して、
防災力を高めたい

<具体的な取組(案)※抜粋>

- 連合自治会を中心に、各自治会と各種団体が連携しながら、防災に関する取組を強化したい。
- 「防災マップ」などを活用して、災害に対する備えや「いっつき避難場所」に関する情報を共有して、防災意識を高めていきたい。
- 災害時に支援が必要な人の把握に努め、誰がどのように支援していくのか計画が立てられるよう、見守り・支援の仕組み及び体制づくりの検討を進めたい。

裏面もあります。

【平成27年度第1回 三保地区別計画推進策定委員会の様子】

当日は、委員とオブザーバーを合わせて37名の方が参加されました。
 今年度初めての委員会でしたので、まず、自己紹介を行い、その後、事務局から「みどりのわ・ささえ愛プランの概要」、「素案策定スケジュール」、「平成26年度の振り返り」について説明がありました。
 その後、昨年度から検討している第3期計画「三保地区 地区別計画」（素案たたき台）について、目標毎に意見交換を行いました。



▲委員会の様子

委員の皆さんからの主な意見など

- ・各自治会で同好会活動を行っているが、横のつながりが必要。相互交流を進められると良い
- ・ウォークラリー、ふれあい給食など子どもを中心とした取組は親も一緒に参加しやすい。
- ・子ども会への参加は多いが、地区で状況が違い、行事が多くて大変。
- ・小学校児童数は1,000人を越えている。「見守り隊」などで地域とのつながりを考えたい。
- ・オレオレ詐欺など犯罪や子どもへの犯罪も発生している。学校・PTAと協力して防犯活動を強化したい。
- ・地域のお祭りなどに顔を出し、多くの人に知ってもらうようにしている。そうすれば、防犯にもつながる。
- ・ボランティア活動なのでお金がない。活動を周知するにも費用や人が必要。広く宣伝できる手段が必要。
- ・社協で広報誌を作成し、各団体の取組や地域で行われていることなどを掲載し、情報発信を行っている。
- ・老人会は活発に行われている。老人会以外の活動が活発になれば良い。
- ・過去に事件をきっかけに各団体が連携できた。事件・事故防止を切り口につながる必要がある。
- ・世代間の格差があるので、違いを理解する必要がある。近隣との関係も希薄で犯罪が頻発している。注意しても逆恨みされる状況もある。行政、自治会、地域の3者でこの問題をどう解決していくのが課題。
- ・地区センターなどの公共施設がなく、自治会館に集まるしかない。自由に入出りでき、活用できる場が必要。
- ・趣味的な交流であれば、自治会館程度の広さでもできるので、相互活用も考えていく必要がある。
- ・回覧板を手渡しすることで地域がつながることもある。まずは、そのような活動から始めたらよい。
- ・災害で隣近所とのつきあひも見直されるようになってきている。イベントなど積極的に参加してもらいたい、企画する側も楽しみながら参加してもらいたい。そうでないと活性化されない。



今後は、今回いただいたご意見とこれまでいただいたご意見を踏まえ、湯澤委員長を中心に三保地区の素案をまとめていくこととなりました。



◀委員会の様子

今後のスケジュール

- 9～10月頃 素案公表・意見公募
- 11月頃 第2回地区別計画推進策定委員会
(第2期計画振り返り・第3期計画の確定)
- 平成28年3月 第3期計画の公表
- 4月 第3期計画スタート!



みどりのわ・ささえ愛プラン三保地区別計画とは?

わたしたち一人ひとりが、自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるように福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。三保地区では、3つの目標を定め、平成23年度から推進に取り組んでいます。

三保地区別計画(H23～H27) 3つの目標

- ◆地域でのつながりを大切にしたい!
- ◆落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい!
- ◆イベント情報等を地域で共有したい!

＜連絡先＞

三保地区 地区別計画推進策定委員会事務局
 TEL：930-2364（緑区生活衛生課）、
 TEL：930-2334（緑区生活支援課）



三保地区別計画推進策定委員会
平成28年2月発行 No.10

三保地区別計画推進策定委員会通信

平成27年11月21日(土)、フォレストハウスで、「平成27年度第2回 三保地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

委員会では、平成28年度からスタートする第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期計画における「三保地区 地区別計画」を確定するとともに、第2期計画5か年の振り返りを行いました。この通信では、その一部をご紹介します。



▲委員会の様子

確定しました！三保地区別計画（平成28～32年度）

- 目標1** 地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい
- 目標2** 落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい
- 目標3** 地域が団結して、防災力を高めたい



目標1 地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい

<具体的な取組から抜粋>

- 子育て中の人に参加できる機会・場を増やし、継続して活動できるようにしたい。
- 地域のイベントや活動を知ってもらため、広報や情報提供を充実・工夫し、担い手の確保や若い人をはじめとした参加者の幅を広げたい。
- 団体・個人を問わず、日頃からあいさつする関係をつくり、地域のつながりを深めたい。
- ウォーキングやラジオ体操など、健康づくり活動を充実し、「つながり」づくりを進めたい。

目標2 落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい

<具体的な取組から抜粋>

- 公設施設の整備を目指し、地域が一体となって実現に向けて努力していきたい
- 自治会館・集会所の相互利用や民間や福祉施設などの空いているスペースの利用促進も引き続き調整していきたい。
- 学校開放などの機会を活用するなど、工夫して地域活動を充実させたい。
- いつでも立ち寄れる交流の場として、交流サロンなどの開設についても検討を進めたい。

目標3 地域が団結して、防災力を高めたい

<具体的な取組から抜粋>

- 連合自治会を中心に、各自治会と各種団体が連携しながら、防災に関する取組を強化したい。
- 「防災マップ」などを活用して、災害に対する備えや「いっとき避難場所」に関する情報を共有して、防災意識を高めていきたい。
- 災害時に支援が必要な人の把握に努め、誰がどのように支援していくのか計画が立てられるよう、見守り・支援の仕組み及び体制づくりの検討を進めたい。

三保地区別計画推進策定委員会って何？

「みどりのわ・ささえ愛プラン 三保地区別計画」(平成23年度～平成27年度)の推進及び次期計画策定に向け、具体的な取組の検討、情報共有、意見交換等を行っています。下記の団体の代表者により構成しています。

連合自治会、自治会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、消費生活推進員、青少年指導員、友愛活動員、少年補導員、防犯指導員、老人クラブ連合会、三保おやじ団、ボランティアみほ、隣友会、三保小学校 PTA、三保小学校 (順序不同)

三保地区の第2期（平成23～27年度）の主な取組をご紹介します！



みどりのわ・さええプラン三保地区別計画とは？

福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。三保地区では、3つの目標を定め、平成23年度から推進に取り組んでいます。

<連絡先>

三保地区 地区別計画推進策定委員会事務局
TEL：930-2364（緑区生活衛生課）
TEL：930-2334（緑区生活支援課）